

平成 24 年 度

事 業 報 告 書

公益財団法人 横浜市シルバー人材センター

概 況

平成24年4月から、横浜市シルバー人材センターは「公益財団法人」として新たなスタートを切りました。長引く景気・雇用状況の低迷の中で、当センターの基本指針である「基本計画2016」第2期（平成24年度～平成28年度）の取組みとして、より公益的な事業推進に留意しつつ、会員拡充や地域社会への受注活動等に積極的に努めました。

平成24年度の契約実績は、対前年度比0.4%増と、これまでの減少傾向に歯止めをかけることができました。

19年度より5年連続、契約実績の減少が続く状況の中で、公共・外郭団体からの受注にも厳しい状況が見込まれたため、民間事業者からの就業依頼に最大限お応えするとともに、個人家庭からのさまざまなご依頼にもきめ細かにお受けすることに、職員一丸となって取組みました。

年度後半には、我が国の経済動向も改善の兆しが出ており、契約実績は、前年度を上回ったものの、受注状況はまだまだ全面的な改善に至るには及びませんでした。

より効率的な事業執行による管理費、事務費等の経費節減を図りつつ、新採用職員の配置等の本部・事務所の業務執行体制の拡充、営業活動の目標明確化、受発注業務遂行上の課題検討など、事業運営上の見直しにも順次着手・実践行動へ繋げました。

また新たに、市民や会員の就業に的確に調整できるよう「専門カウンセリングによる相談窓口」を開設したほか、安全・適正就業の推進など、就業拡大の取組を進めました。

団塊の世代が順次65歳に達し、一層の高齢化が進む中、高齢者がいつまでも「生涯現役」として労働力となり、また地域社会の活力を支える担い手として、元気に活動していくことが求められています。

今後も、団塊の世代を含めた高年齢者の多様な働き方・ニーズに対応して、一人でも多くの会員が就業できるよう、地域貢献的な事業を推進し、「高年齢者の生きがいの充実と福祉の増進」「活力ある地域社会づくり」の公益目的実現に向けて積極的な事業の展開を図り、当センターの役割・使命を果たしてまいります。

1 事業実績

(1) 会員数

平成24年度は、依然として厳しい景気・雇用情勢等の影響により、2,215人が退会したため、24年度末の登録会員数は10,037人（事務所間入退会異動者29人含む）となり、年度当初の10,095人から58人の減少となりました。

新規登録会員数は、2,128人で前年度の2,002人に比べ126人（+6.3%）の増加となり、特に会員が不足している地域・職種を中心に、チラシ等配布を行い、会員増強を図りました。

なお、登録会員に占める女性会員の割合は、入会促進等を図った結果、23年度と比べ0.2ポイント増加し、32.0%となりました。

センターへの入会動機では、「経済的理由」が34.3%と前年度の33.8%から0.5ポイント増加し、順次、「生きがい・社会参加」が26.2%、「健康維持」が24.1%、「時間的余裕」が11.3%と前年度比同率になっています。

また、就業率は、発注者からの契約見直し等の影響や退会者増加したため、71.6%と前年度の73.6%から2.0ポイント減少しました。

登録会員が希望する職群（構成比%）の順序は、前年度同様に、①一般作業（31.7%）②施設管理（20.7%）③事務整理（13.8%）となっています。

◇過去3年間の推移

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
会員数（人）	10,688	10,095	10,037
対前年度比（%）	（94.3）	（94.5）	（99.4）
男女比（男/女）	69.3/30.7	68.2/31.8	68.0/32.0
契約金額（千円）	3,925,207	3,848,230	3,863,176
対前年度比（%）	（93.0）	（98.0）	（100.4）
就業率（%）	67.8	73.6	71.6

◇過去5年間の新規登録会員数（単位：人）

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
1,708	2,243	2,129	2,002	2,128

(2) 契約金額と件数

24年度は、引き続き、「公共・外郭団体」については、競争入札への移行や指定管理者制度の実施、さらには各団体等の事業改革等への影響で、「外郭団体」からの大幅な受注減少が続いておりますが、「民間企業」については、一部の業種に景気持ち直しの状況等から、19年度から5年連続の減少を脱し、堅調な受注増加がありました。

今年度の契約金額は38億6,317万円余（対前年度比：+0.4%）、受注件数が54,893件（前年度対比：+2.4%）と前年度対比実績の増加となりました。

また、「個人家庭」については、福祉・家事サービスや植木の手入れ等技能、除草等において、発注者へのニーズに応えるため、適切な受注体制の整備や会員への積極的な就業提供促進等を図った結果、契約金額5億2,541万円余（対前年度比：+2.6%）と増加となりました。

次に、職群別に受注件数を見ると、「一般作業」「技能」「サービス」の職群は、前年度に比べ若干の実績増加を示しましたが、契約金額は、「外郭団体」等の事業・組織改革等による契約変更の影響のため、「施設管理」は前年度対比（-2.6%）となりました。

一方、企業等からの作業系の就業となる「一般作業」(+6.3%)や福祉・家事援助の「サービス」(+6.4%)は増加しましたが、他の職群は、前年度対比:最大-21.8%と下回っています。

この主な要因としては、民間企業から一部の業種に景気回復の兆しが現れているものの、指定管理者制度等の実施や発注先の事業・組織改革等による契約変更・完了などの影響によるものと考えています。

(参考)

◇発注先別契約実績

発注先	平成 23 年度				平成 24 年度					
	契約金額 (千円)	構成比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	契約金額 (千円)	構成比 (%)	対前年度 比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	対前年度 比 (%)
公共	246,351	6.4	1,405	2.6	212,786	5.5	86.4	1,332	2.4	94.8
外郭	323,074	8.4	2,026	3.8	308,708	8.0	95.6	1,723	3.2	85.0
民間	2,766,709	71.9	24,309	45.4	2,816,267	72.9	101.8	25,198	45.9	103.7
個人	512,096	13.3	25,849	48.2	525,415	13.6	102.6	26,640	48.5	103.1
合計	3,848,230	100.0	53,589	100.0	3,863,176	100.0	100.4	54,893	100.0	102.4

◇職群別契約実績

職群	平成 23 年度				平成 24 年度					
	契約金額 (千円)	構成比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	契約金額 (千円)	構成比 (%)	対前年度 比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	対前年度 比 (%)
専門技術	50,571	1.3	450	0.8	39,546	1.0	78.2	440	0.8	97.8
技能	442,586	11.5	12,329	23.0	421,332	10.9	95.2	12,566	22.9	101.9
事務整理	174,847	4.5	1,931	3.6	159,441	4.2	91.2	1,744	3.2	90.3
施設管理	729,129	18.9	4,100	7.7	710,465	18.4	97.4	3,836	7.0	93.6
渉外	466,937	12.1	2,160	4.0	422,590	10.9	90.5	2,133	3.9	98.8
一般作業	1,764,558	46.0	23,735	44.3	1,876,120	48.6	106.3	25,161	45.8	106.0
サービス	219,602	5.7	8,884	16.6	233,682	6.0	106.4	9,013	16.4	101.5
合計	3,848,230	100.0	53,589	100.0	3,863,176	100.0	100.4	54,893	100.0	102.4

2 高齢者への就業支援の強化

(1) ワンストップサービス「はまさポ」の推進

団塊の世代を含めた高齢者に対して、豊富な仕事経験を活かせるライフスタイルの実践や多様な働き方等への支援について、就業機会の提供や多様な就業ニーズ等の情報収集や提供を行う「ワークサポート情報プラザよこはま」（通称:はまさポ）の運営に取り組みました。主な取り組みとしては、高齢年者の様々なニーズに対応した働き方・市民活動・起業などに関する横浜市内で実施されている豊富な情報を収集、利用者の希望に合った事業や機関・団体の情報等を紹介しました。

また、新たに専門のカウンセラーによる就職活動等の相談窓口を開設したキャリアカウンセリングや神奈川県シルバー人材センター連合会の国の補助事業であるSP事業（シニアワークプログラム）と連携した「合同就職説明会」に参加し、センター事業のPRとともに、就業に係る面接相談会を開催しました。

◇平成24年度実績

事業名	来場者・相談者数（男性／女性）	サイトアクセス数
ワークサポート情報プラザよこはま （通称:はまさポ）	47人（28人／19人）	22,026件 （月平均1,836件）
キャリアカウンセリング	18人（13人／5人）	

(2) 一般労働者派遣事業の推進（神奈川県シルバー人材センター連合会からの委任事務として実施）

請負・委任や無料職業紹介事業の取り組みに併せて、高齢者の多様な働き方に対応した雇用・就業機会の確保として、高齢法の改正でシルバー人材センター事業の特例により認められた一般労働者派遣事業を展開し、適正就業等の推進を図りました。

なお、平成24年10月1日に労働者派遣法が一部改正され、「日雇派遣の原則禁止」の例外（60歳以上の人）が認められ、12月の衆議院選挙に係る期日前投票等の人材派遣契約による就業を図りました。その他の仕事内容は、機械清掃、部品洗浄作業です。

◇過去3年間の推移

項目／年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
契約件数（前年度対比）	8件（100.0%）	6件（75.0%）	11件（183.3%）
契約実人員（前年度対比）	20人（95.2%）	26人（130.0%）	260人（1,000.0%）
契約金額（前年度対比）	14,643,346円（94.1%）	17,132,243円（116.9%）	26,338,415円（153.7%）

※24年度選挙に係る契約実績（契約件数：5件、派遣実人員：232人、契約金額：8,328,905円）

(3) 適正就業（法令遵守）の推進

新たに受注した仕事や既存の就業先での就業形態（請負・委任等）について調査・検討し、就業実態に即した契約内容の見直し等により、適正就業の徹底を図ってまいりました。

全国シルバー人材センター事業協会作成の「適正就業のための自主点検表」及び神奈川県シルバー人材センター連合会の「シルバー事業適正運営の基本方針」に基づき、公共・外郭団体・民間企業の顧客先について、適正な就業のための自主点検調査等を実施し、適正就業の改善等に取り組むとともに、特に今年度は、全国シルバー人材センター事業協会主催による「一部業種の就業実態に即した適正な運営」等の合同検討会に、神奈川県シルバー人材センター連合会、川崎市シルバー人材センターとともに参加し、整備確立等を図ってまいりました。

3 受注開拓活動の推進（地域社会へのサービス強化）

（1）役職員による受注活動

公共・外郭団体の競争入札への移行や指定管理者制度の実施、また民間企業においても景気・雇用情勢等の変動により、引き続き受注減少が予測される中、役職員・会員が一体となって、受注開拓や会員増強等について、積極的に取組み推進を図るため、顧客先への訪問PR活動等を定期的実施し、受注維持・拡大に向け取り組んでまいりました。

24年9月には横浜市「情報共有推進会議」において、高齢者への生きがいの付与、人材活用の一環として、シルバー人材センターの活用促進PR、特に特命随意契約による発注要請等を実施するとともに、各事務所長等による各区役所への訪問・受注開拓活動等を行いました。また、同月に実施した「顧客満足度調査」の結果分析に基づき、役職員と事業推進員及び福祉・家事援助コーディネーターとが連携を図りながら、新規・既存の事業所等への訪問受注活動等を実施し、受注確保や会員の就業機会の拡大等に取組みました。

さらに、25年1月から本部・事務所職員による「課題別プロジェクト」を立ち上げ、センター事業拡大等のための「受注開拓・会員増強」、「地域貢献型事業への展開（家事サービス）」、「植木・除草業務の整備」、「本部・事務所連携強化」等について検討を行い、各課題別プロジェクトで策定した「実施基本計画」に基づき、事業を展開するとともに、25年度の「事業計画」へも反映し、事業の推進に着実に取り組むこととしました。

（2）事業推進員活動（全事務所で6人配置）

受注拡大や会員増強を目的とする事業推進員活動は、24年度も引き続き、各事務所に配置した事業推進員6人により、景気・雇用情勢等の変動の影響による新規受注の減少や既存の顧客からの契約変更・解除等の対応策として、受注開拓とともに、会員募集のPR活動等を行いました。

なお、訪問による受注開拓や特にチラシ配布等を中心に事業推進活動を行った結果、前年度に比べ受注件数、就業延人員については、増加となりました。

◇事業推進員活動の実績

年 度	訪問件数	受注件数	受注金額	就業実人員	就業延人員
平成23年度	89,576件	4,601件	140,266,504円	6,917人	24,343人日
平成24年度	64,845件	4,811件	139,520,512円	6,745人	24,428人日

※訪問件数はチラシ配布を含む

（3）地域貢献型家事援助等簡易サービスの推進

高齢者世帯等の家庭に対し、様々な家事援助・福祉サービスの簡易なお手伝いを行うサービス事業の仕組み体制等の整備・実施について、24年1月に「家事サービス課題別プロジェクト」を立ち上げ、家事簡易サービス（ワンコイン）事業の実施に向け、円滑な運営を図るため、モデル地区や仕事のリスト化、受託・料金収受方法等の事業実施体制の具体化検討等を行いました。（平成25年6月より事業開始する予定であります。）

（4）企画提案方式事業の推進（国の高齢者就業機会確保事業等に係る補助事業）

「企画提案方式事業」については、横浜市中期4か年計画の①「環境行動・地球温暖化対策の推進」、②「未来の人材子ども戦略」と「100万人の健康づくり戦略」に基づき、①磯子事務所の取組みとして、ISO14001（環境）エコアクション21認証取得等支援活動事業、②6事務所の取組みとして、地域の子育て家族・高齢者（ひとり暮らし高齢者等含む）を支援するため、「コーディネーター」の配置によるサポート事業を展開しました。

なお、磯子事務所の ISO14001（環境）エコアクション 21 認証取得等支援活動事業については、24 年 6 月に「環境マネジメントシステム入門セミナー」を開催し、環境行動等の推進を図るとともに、事業所への訪問による支援活動等を取組みました。

また、各事務所のコーディネーターが発注者と会員とのニーズ相談等を行い、個人家庭などの子育て・高齢者等支援のきめ細かな推進を図った結果、「福祉・家事サービス」については、受注件数が 8,742 件（対前年度比：+1.2%）、契約金額が 2 億 2,735 万円余（対前年度比：+7.2%）の増加となりました。

（5）顧客満足度調査（隔年）の実施

平成 24 年 9 月 3 日から 12 月 10 日にかけて、顧客満足度調査を家庭と事業所に分けて行いました。平成 22 年度（前回）との増減結果を分析し、事業運営を通して顧客満足度の向上に努めています。

－ 調査概要と主な調査結果 －

	家庭（2,000 世帯調査）	事業所（576 社調査）
調査時期	平成 24 年 9 月 3 日～11 月 30 日	平成 24 年 9 月 3 日～12 月 10 日
調査方法	請求書に調査用はがき同封	事業推進員訪問活動聴取と郵送
回収数	800 件（前回 708 件）	442 件（前回 466 件）
回収率	40.0%（前回 35.4%）	76.7%（前回 77.7%）
主な調査結果	(1) 仕事の出来ばえ 満足+おおむね満足:91.5%（+2.6） (2) 会員の言葉づかいや態度 満足+おおむね満足:90.5%（+3.7） (3) 事務所・職員の対応 満足+おおむね満足:82.1%（+4.7）	(1) 仕事の出来ばえ 満足+おおむね満足:82.3%（+1.0） (2) 会員の言葉づかいや態度 満足+おおむね満足:76.5%（-0.3） (3) 事務所・職員の対応 満足+おおむね満足:75.0%（-1.3）
() 内は前回（22 年度）との増減		

（6）会員による PR 活動

前年度に引き続き、区民まつり等地域イベントに参加し、事業紹介や受注拡大のためのチラシの配布等を行い、センター事業の PR を行いました。

また、自主的に会員の不足している職種や地域など、事務所毎に特徴を持った PR チラシの作成・配布を実施し、センターの普及啓発に努めました。

（7）独自事業の実施

独自事業は、会員の培った専門的技術や技能を講習会等の講師として役立て、併せて広く市民に還元していくことを目的に実施しています。

24 年度についても引き続き、人気の高い中高年英語教室、IT 講習等を開催するとともに、会員の自主的な運営による講習会として強化を図りました。

また、例年好評の「親子ふれあい教室」は「そば打ち」と「パンづくり」を開催しました。

◇独自事業の実施状況（会員講師及び運営委員：44 人）

	教室名	年間開催数（回）	延参加人員（人）	会場
①	実践書道	72	1,350	緑事務所
②	中高年英語教室	556	5,219	戸塚事務所
③	パンづくり（初級）	20	325	ワークプラザ調理室
	〃（中級）	20	256	

④	写真の撮り方 (初級)	11	169	ワークプラザ研修室
	〃 (中級)	11	198	
⑤	そば打ち (初級)	16	206	ワークプラザ調理室
	〃 (中級)	4	62	
⑥	I T講習	81	917	ワークプラザ研修室
⑦	オカリナ教室	17	152	ワークプラザ研修室
⑧	夏休み親子ふれあい教室			ワークプラザ調理室
	そば打ち	1	21	
	パンづくり	2	60	
	合 計	811	8,935	

(8) I T社会に対応する受注活動

ホームページ掲載情報等の更新と「はまさポ」と連携したページの充実を図った結果、電子メールによる仕事の発注依頼として、今年度45件（前年度58件）の発注申込件数があり、センターの事業PR、受注拡大等を図りました。

また、全国シルバー人材センター事業協会のインターネットによる受注システム「シルバーしごとネット」により、24年度42件（前年度62件）の受注がありました。

仕事内容としては、結婚式招待状の毛筆宛名書き、植木剪定、除草、庭木への水撒き、襖・障子の張替え、家事サービス、マンション清掃等です。

4 会員増強等の就業体制の強化

(1) 会員の増強

多様化する発注者ニーズに的確かつ迅速に 대응していくため、登録説明会時にきめ細かな登録会員のニーズ状況の把握と本部・事務所に常設した「就業相談コーナー」において、主に未就業会員の就業相談等を行い、就業情報の提供や会員の就業ニーズの的確な把握に努め、ミスマッチの解消を図るとともに、ローテーション就業等によるワークシェアリングを図りました。

なお、新たに会員登録を希望する高齢者に対し、本部・事務所で開催する「会員登録説明会」を希望に応じた期日や会場の柔軟な対応によって入会促進を図ったほか、会員によるロコミ、講習会の開催、ホームページ等を通じての会員募集の啓発活動を行いました。

また、団塊の世代や会員が不足している地域・職種を中心とした会員募集の実施（チラシ配布等）や女性会員の入会促進など、会員の増強に努めました。

(2) 技能講習会・研修会の充実

発注者の満足度向上と会員の資質・技能向上のため、次の講習・研修を開催しました。

会員のスキルアップにつながるセンター主催の技能講習会として、実施内容等の拡充・整備を図り、需要の多い緑地管理、DIY講習会の開催をしました。

また、昨年度に引き続き、新規及び事故発生会員を対象にした神奈川県造園業協会理事・教育研修委員による植木業務の「安全啓発研修会」及び神奈川労働局長登録教習機関「キャタピラー教習所（株）相模教習センター」講師による安全衛生教育として、チェーンソー・刈払機業務の「電動工具安全啓発研修会」（受講生に技能講習修了証を発行）を開催し、受講義務化による安全啓発も併せて図りました。

さらに、クレームやトラブルを防止するため、外部の専門講師による「接客研修会」を開催し、会員就業時のマナーとサービス向上等を図りました。多くの会員の参加を得るために、会場は本部と神奈川事務所、緑事務所で開催した結果、5日間で402人が受講しました。

◇講習会の実施状況

	講習名	実施期間	日数	参加人数(人)	会場
技 能	○緑地管理(春期)	5/16~5/23	6	24	横浜新都市交通
	○緑地管理(秋期)	11/27~12/4	6	21	〃
	○DIY	6/14~6/15	2	20	ワークプラザ 作業室・調理室
事務	○毛筆宛名書き	10/18~10/22	3	13	ワークプラザ研修室
合 計			17	78	

※ ○印は会員が講師を務める講習

◇研修会の実施状況

	講習名	実施期間	日数	参加人数(人)	会場
植 木	植木業務安全啓発	1/17	1	34	ワークプラザ作業室
	電動工具安全啓発	2/14~2/15	2	21	北部第一水再生センター
除 草	刈払機安全啓発	3/8	1	26	環境活動支援センター
接 遇	接客研修(A)	11/8	1	67	中山地区センター
	接客研修(B)	11/18	1	117	ウイリングよこはま 研修室
	接客研修(C)	11/19	1	92	〃
	接客研修(D)	11/21	1	76	〃
	接客研修(E)	11/22	1	50	老人福祉センター うらしま荘
	小 計			5	402
合 計			9	483	

(3) 就業機会提供等の推進

発注者等のご理解のもと、仕事の分かち合い等を目的としたワークシェアリングの推進やひとりでも多くの会員に就業機会の提供（ローテーションによる就業等）をすることで、適正就業の推進を図りました。

(4) 地域班・職群班活動の推進（会員相互のネットワーク強化）

センター事業を効果的・効率的に展開するため、会員組織による地域班、職群班及び班活動の役割の強化を図っていくことが重要になっております。

区または連合自治組織単位等での地域貢献事業（家事簡易サービス・ワンコイン）の整備・実施に向けて、会員が主体的に組織運営を行う「地域班・職群班」の構築に向けた役割等検討を引き続き行いました。

○ 職群班活動の推進（会員相互のネットワーク）

安全管理や技能向上、トラブルの防止等を中心に研修・情報交換の場として、会員懇談会を開催

◇植木・除草職群班活動状況

事務所	職群班懇談会	開催日	参加人数(人)	会場
南	除草班（午前）	8/28(火)	16	南事務所交流室
	植木班（午後）		29	
	除草班（午前）	2/18(月)	17	
	植木班（午後）		40	
保土ヶ谷	植木班・除草班合同	2/26(火)	66	保土ヶ谷事務所交流室
磯子	植木班	9/19(水)	10	磯子事務所交流室
		9/21(金)	8	
		2/22(金)	45	
緑	植木班	8/29(水)	29	緑事務所交流室
		2/27(水)	38	
戸塚	植木班・除草班合同	8/28(火)	55	戸塚事務所交流室
		2/20(水)	68	
合計			421	

(5) 「年会費」制度の円滑な推進（年会費：1,200円／年額）

自主的・自立的な経営基盤を確立するための財源確保として、全会員を対象に「年会費」制度（年額：1,200円）を実施するとともに、会員の自主的な運営参画とセンターへの帰属意識の高揚等を図りました。

また、本部・事務所に「就業相談コーナー」を常設し、未就業会員を中心にきめ細かい相談を通じて、就業機会提供及びホームページによる情報提供（お仕事情報等）の掲載、会報誌を年3回（4月・9月・1月）発行、全会員に配布し、センター事業に関する情報発信の拡充等を図りました。

5 福祉・家事援助サービス業務の推進

(1) 福祉・家事援助サービスコーディネーターの活動

前年度に引き続き、福祉・家事援助サービスや子育て・高齢者支援業務等について、企画提案方式事業（地域子育て・高齢者サポート事業）と連携して、当該分野の受注拡大に向けた体制整備を図るため、福祉・家事援助サービスコーディネーターを各事務所に2人、計12人を配置しました。

なお、サービス業務の適切な就業実施に向けて、「福祉・家事援助サービスコーディネーター用マニュアル」によるコーディネーター業務の取り組みを強化徹底し、発注者のニーズに迅速・的確に応えるため、就業会員とのきめ細かな調整に努めるとともに、相談対応や事務所単位での懇談会の開催等、会員への就業促進等強化を図りました。その結果、前年度に比べ、受注件数、契約金額、就業延日人員については、増加となりました。

また、本部主催の福祉家事援助サービスコーディネーター会議（毎月1回開催）、並びにコーディネーターが中心となった事務所単位の会員懇談会を開催しました。

なお、会員懇談会では、「福祉・家事援助サービス就業会員用マニュアル」によるサービス業務に係る注意事項等について研修を行い、理解周知を徹底するとともに、就業情報の共有や就業体制の強化を図りました。

◇福祉・家事援助サービスの実績

区分		受注件数 (件)	契約金額 (千円)	就業延日人員 (人日)	主な受注例
福祉	平成23年度	597	75,753	16,626	軽易な介護
	平成24年度	662	91,736	20,445	付添い、送迎等
家事	平成23年度	8,040	136,166	41,153	家庭内清掃、炊事、
	平成24年度	8,080	135,619	40,328	洗濯、子育て支援等
合計	平成23年度	8,637	211,919	57,779	
	平成24年度	8,742	227,355	60,773	
対前年度比		101.2%	107.2%	105.1%	

(2) 子育て支援

企画提案方式事業（地域子育てサポート事業）の推進として、地域子育て支援拠点との連携等情報交換を図り、保育園等の運営補助、共働き世帯等、子育て支援を必要とする団体や家庭に対し、地域社会の支援として、会員の豊かな経験等を活かしたサービスの提供に努めました。

(3) 介護保険対象外業務の支援

引き続き、介護保険の適用とならない高齢者世帯に対する家庭内清掃等の支援サービスや家事援助の受注開拓のため、職員や事業推進員による各区役所、地域ケアプラザ、民間福祉施設等の訪問活動（チラシ配架等）やコーディネーターによる個人宅等へのリーフレットの配布などを行いました。

6 安全管理対策の強化

(1) 安全管理委員会活動

就業時及び就業場所に向う途上における「事故ゼロ」を目指し、センター役職員・会員で構成する本部・支部安全管理委員会が中心となって、会員就業現場の巡回視察、事故防止に向けた安全啓発活動を行いました。特に植木の手入れ・刈払機の研修会開催や事故の多いマンション清掃等の事故分析に基づく再発防止対策等に取り組みました。

◇安全管理委員会活動状況

事務所	委員会	巡回視察	安全講習会等の実施内容
本部	2回		○ 交通安全（運転適性検査・交通安全講習）
支部	72回	216回	○ 植木・除草（電動工具の安全操作啓発等）

(2) 安全講習会・研修会の開催

前年度に引き続き、植木・除草（刈払機）分野の新規及び事故発生会員を対象にした「安全啓発研修会」及びチェーンソー・刈払機使用に係る「電動工具安全啓発研修会」を実施しました。なお、この研修会を受講義務化として、植木・除草（刈払機）作業の安全啓発の徹底を図りました。

また、交通災害防止を目的に、自動車の「運転適性検査」、神奈川県警による事務所単位の「交通安全講習会」を開催し、発生事故として多い就業途上（歩行中）での事故防止対策等の講義を実施しました。

(3) 安全就業に向けた取組強化

前年度に引き続き、事務所単位での植木剪定班会議（職群班会議）開催や就業先への巡回視察時等により、作業時のヘルメットや安全ベルトの装着、梯子の安全な取扱い方等の遵守徹底を呼びかけました。

また、安全啓発チラシの配布、会報誌への啓発記事掲載、職群別会員懇談会等で事故発生状況報告等を行い、事故防止に向けた安全啓発を実施するとともに、事務所での就業先への巡回視察及び事故発生会員による「事故報告書」の提出の義務化等を実施し、再発防止と事故発生件数の減少に努めました。

特に事故の多い植木・除草（刈払機）の作業対応には、就業前の安全確認のための「植木作業前安全確認チェック表」と「刈払機作業手順書」を配布し、就業前の養生、機械点検等を義務づけ、安全管理の実践強化を図りました。

さらに、危機管理体制の構築として、マニュアル及び休日・祝日の就業会員に係る事故発生時等（緊急連絡等）の措置対応の検討し、2月より休日・祝日の連絡体制の整備を図りました。

(4) 事故発生状況

24年度は安全就業の徹底強化に向け就業先への巡回視察、事故発生会員に対する「事故報告書」の提出の義務化や植木・除草（刈払機）の安全啓発等の取組みを行いました。事故発生件数は、前年度に比べ「傷害事故」は2件増加しました。

傷害事故の中で、特に清掃作業や就業途上中の事故が多く、事故発生率の高い職種等の巡回視察活動や就業途上（躓き防止等）の安全啓発の一層の強化を図っていきます。

なお、賠償責任事故は前年度と同件数となり、特に植木手入れ・除草の刈払機による事故等が多く、傷害と賠償を合わせた合計は55件（前年度比+2件）となりました。

◇事故発生状況（件）／過去5年間

項目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
会員傷害事故	35	39	34	29	31
賠償責任事故	29	27	15	24	24
合計	64	66	49	53	55

(5) シルバー保険への加入

会員の就業時や就業現場途上時における万一の事故に備え、傷害・賠償責任事故を補償するシルバー人材センター総合保険に加入しました。

7 財政基盤の強化と業務執行体制の見直し

(1) 「基本計画2016」第2期（平成24年度～平成28年度の5年間）の執行管理

「基本計画2016」第2期（2012年～2016年の5年間）については、横浜市が策定した「中期4か年計画」（2010年～2013年）や横浜市との「第3期協約」（2011年～2013年の3年間）との整合（連動）を図りながら、数値目標等達成に向け、取組んでまいりました。

(2) 経営基盤の確立と「年会費」制度・事務費率（10%）の推進

さらに厳しい財政事情から、引き続き、管理費・事務費に係る経費、新規職員採用など人員体制の見直し等により経費節減を図るとともに、事務費（10%）及び「年会費」の制度を推進し、自主的・自立的な財政基盤の確立等を図りました。

(3) 公益財団法人への移行及び事業運営

平成24年4月1日より新たな定款に則り、より公益目的の実現に努めることとし、個々の事業を通じて高年齢者の生きがいの充実や福祉の増進を図るとともに、活力ある地域づくりに寄与していく事業基盤を強化してまいりました。

8 個人情報の保護並びに法令遵守

引き続き、会員に対する就業時の個人情報の保護・管理等の徹底について、接遇研修会や各事務所で職群別会員懇談会の開催を通じて個人情報保護に関する説明と理解徹底を図るとともに、新規登録希望者や会員の個人情報の保護強化に取り組みました。

また、当センターが保有する情報の管理や顧客先に提供する就業会員に関する情報についても、適正な保護と管理を徹底するとともに、就業に関連する法令等について、職員及び会員への遵守徹底を図りました。

なお、センターのホームページ等を通じて、経営及び事業の実績など、経営情報の積極的な開示を行いました。

9 ボランティア活動の支援

会員が永年培った技術や技能を活かした地域への貢献並びに会員の主体的なボランティア活動への支援を行いました。ボランティアの内容は、「演芸」、「福祉」、「観光ガイド」、「街の美化清掃」の4つの分野で活動を実施し、福祉施設、公共的施設等を中心に、延べ797人が活動しました。

◇グループ別活動実績

グループ名		主な活動場所	参加延人数
演芸	楽器演奏	地域ケアプラザ、老人福祉施設、地区センター、病院等	235
	手品等	老人福祉施設、リハビリテーション施設等	0
福祉	介護補助	大豆戸・本牧原・万騎が原・不老町・東戸塚地域ケアプラザ	269
	そば打ち	地域ケアプラザ等	4
観光ガイド		旧東海道歴史散策八丁堰から生麦まで・横浜にも登り窯があった・幕末明治歴史の宝庫、山手外国人墓地を訪ねて・「国歌君が代発祥の地」へ・横浜市港周辺の歴史的に由緒ある建物を訪ねてみよう・根岸の旧柳下邸から大正のロマンをめぐる	24
街の美化清掃		横浜駅東口周辺、みなとみらい21地区等	265
延参加会員数計			797

10 普及啓発活動の推進

引き続き、より効率的・効果的な各種広報媒体の活用を図り、事業PR活動を展開しました。

(1) 広報媒体を活用したPR

ミニコミ誌への記事掲載を活用し、センター事業のPRを図りました。

◇ ミニコミ誌の活用

- ・公益財団法人横浜市老人クラブ連合会機関紙「シニアだより横浜」南部版・北部版（各60,000部）への当センター受注開拓用広告掲載
- ・タウンニュース「港南区版」に第29回創作展会、第6回カブトムシ幼虫採集体験学習開催記事掲載

(2) ポスターの掲出とパンフレット・リーフレット等の配布

前年度と同様に、センター事業の普及・啓発を目的に、市営バスや市営地下鉄の車内及び駅構内、市内公共施設等にPR用ポスターを制作し、掲出しました。

なお、新たに神奈川県シルバー人材センター連合会による神奈川県下のセンター（相鉄沿線及び近辺の横浜、大和、座間、海老名、藤沢、厚木、相模原、川崎）の就業確保・充実を図る目的で、相模鉄道の子車内に受注開拓ポスターを掲出しました。（掲出期間：平成24年10月～平成25年10月までの1年間、掲出部数：152枚・456車輦の内の152車輦）

また、総合パンフレット及び会員募集用リーフレット・家庭向けリーフレットを事業推進員のPR活動等で活用するとともに、地域や職種に限定した会員募集用リーフレットやチラシの配布を行いました。

◇ポスターの掲出状況

掲出先	掲出期間	掲出部数(枚)
地下鉄駅	平成24年10月15日(月)～10月21日(日)	36
地下鉄車内	〃	108
市バス車内	平成24年10月16日(火)～10月22日(月)	900
各区役所等	〃	100

◇パンフレット・リーフレット印刷等部数

内 容	部 数
総合案内パンフレット	16,000部
受注開拓用家庭向リーフレット	45,000部
会員募集用リーフレット	39,000部

(3) インターネットの活用

ホームページを更新し、センターのしくみ、「はまさぽ」の情報提供、会員登録や仕事発注の方法、会員への就業提供（お仕事情報等）、技能講習や独自事業の開催状況、ボランティア活動の実施状況等を紹介し、分かりやすい広報活動に努めました。

(4) 区民まつり等地域イベントへの参加

各区で開催される区民まつり等に参加し、センター会員のもつ多彩な技術・技能の実演発表や手芸品バザー、PRグッズの配布等を通じて、受注開拓や会員募集等センター事業のPR活動に努めました。

◇区民まつり等地域イベントへの参加状況（事業PR用のリーフレット、テッシュ等配布）

事務所	開催区	イベント名	開催日	会 場	出展内容
神奈川	神奈川	うらしま祭り	9/15(土)	うらしま荘	包丁研ぎ
	港北	ふれあいまつり	10/20(土)	新横浜駅前公園	PRチラシ等配布
南	西	37回区民まつり	11/4(日)	戸部公園	風船バルーン
	中	ハローよこはま2012	10/7(日)	横浜公園日本大通り	ロープ結び実演等
保土ヶ谷	保土ヶ谷	区民バザール	10/20(土)	保土ヶ谷公園他	パネルクイズ等
磯子	金沢	金沢いきいきフェスタ	10/20(土)	海の公園	骨強度測定会等
緑	緑	ふれあいまつり	12/2(日)	ハーモニーみどり	手芸品販売、パード
	青葉	青葉区民まつり	11/3(土)	青葉区合同庁舎	カービング展示等
戸塚	戸塚	ふれあい区民まつり	11/3(土)	東戸塚小学校	折り紙教室
	栄	栄区民まつり	11/3(土)	本郷中学校	PRチラシ等配布

11 無料職業紹介事業の実施

臨時的・短期的及び軽易な業務に係わる雇用を希望する高年齢退職者のための無料職業紹介事業を実施しました。なお、24年度は12月の衆議院選挙に係る期日前投票事務等への求人紹介をした結果、前年度の実績より増加しました。

◇平成24年度の実績

・求人延事業所数 64件（前年度20件） ・就職人数 74人（前年度10人）

12 会報誌の発行

会報「シルバーセンター」は、会員編集委員の主体的な企画、取材及び編集活動の成果を掲載して定期発行を行っていますが、24年度もセンター事業の進捗状況等や会員の諸活動を紹介する情報誌として、全会員、発注者、区役所、地区センター等関係機関へ配布しました。

なお、会報誌は年3回（4月・9月・1月）発行し、企業広告の有料広告掲載を募り、印刷経費等の軽減を図りました。

◇会報の発行実績

内容／号数	第92号	第93号	第94号
発行月	平成24年4月	平成24年9月	平成25年1月
発行部数	15,000部	15,000部	15,000部

13 会員の自主活動への支援

(1) 会員交流会、サークル活動への支援

◇事務所での開催状況

事務所	内 容	会員交流会 開催数 (回)	サークル 団体数	サークル名
神奈川		7	6	探訪、写真、版画、ビデオ、水彩画 カラオケ
南		12	5	探訪、書道、カラオケ(2)、相撲甚句
保土ヶ谷		5	5	書道、俳句、囲碁、パソコン、手芸
磯子		12	5	写真、鎌倉彫、俳句、書道、英会話
緑		10	8	探訪、写真、ボードゲーム、俳句 墨絵、手芸、社交ダンス、パソコン
戸塚		11	4	探訪、書道、絵画、パソコン
合 計		57	33	

(2) 「創作展」の開催

書道、絵画、写真、工芸等全事務所の同好会員で構成される「創作展」は、第29回目の開催を迎え、2,085人の来場者を得て盛会に開催されました。

◇第29回創作展

会 期	平成25年2月10日(日)～2月15日(金)の6日間
会 場	横浜市民ギャラリー 1階 展示室
出展会員数	112人(他1団体)
出展作品数	131点

14 評議員会・理事会の開催

平成 24 年度は、次のとおり評議員会、理事会を開催しました。

(1) 評議員会

月 日	場 所	議 案 内 容
平成 24 年度第 1 回 評議員会 平成 24 年 5 月 30 日	シルバー人材センター 本部研修室	第 1 号議案 公益財団法人横浜市シルバー人材センター評議員会運営規則の制定について 第 2 号議案 平成 23 年度事業報告について 第 3 号議案 平成 23 年度決算について 第 4 号議案 役員の報酬並びに費用の額の決定について 第 5 号議案 理事の選任について
平成 24 年度第 2 回 評議員会 平成 25 年 3 月 25 日	シルバー人材センター 本部研修室	第 1 号議案 公益財団法人横浜市シルバー人材センター定款の一部変更について 第 2 号議案 公益財団法人横浜市シルバー人材センター評議員会運営規則の一部変更について

(2) 理事会

月 日	場 所	議 案 内 容
平成 24 年度第 1 回 理事会 平成 24 年 5 月 1 日	書面評決 (決議の省略による)	第 1 号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について 第 2 号議案 公益財団法人横浜市シルバー人材センター評議員選定委員会運営規則の制定について 第 3 号議案 評議員選定委員会委員の選任について 第 4 号議案 評議員候補者の推薦について
平成 24 年度第 2 回 理事会 平成 24 年 5 月 25 日	シルバー人材センター 本部研修室	第 1 号議案 公益財団法人横浜市シルバー人材センター理事会運営規則の制定について 第 2 号議案 平成 23 年度事業報告について 第 3 号議案 平成 23 年度決算について 第 4 号議案 定時評議員会開催に係る目的である事項の追加について

平成 24 年度第 3 回 理事会 平成 24 年 11 月 6 日	シルバー人材センター 本部作業室	報告事項	平成 24 年度上半期における事業等の状況について
平成 24 年度第 4 回 理事会 平成 25 年 3 月 18 日	シルバー人材センター 本部研修室	第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案 第 4 号議案 第 5 号議案	平成 24 年度補正予算について 平成 25 年度事業計画について 平成 25 年度収支予算について 公益財団法人横浜市シルバー人材センター財務規程の一部変更について 平成 24 年度第 2 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について

(3) 評議員及び役員

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

ア 評議員

役 職	氏 名	現 任 期※
評 議 員	塚 原 良 一	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度
評 議 員	小 勝 俊 郎	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度
評 議 員	高 山 晋 一	平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 4 月 30 日
	難 波 一 尚	平成 24 年 5 月 16 日～平成 28 年度
評 議 員	佐 藤 信 男	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度
評 議 員	横 松 進 一 郎	平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 4 月 30 日
	芳 賀 宏 江	平成 24 年 5 月 16 日～平成 28 年度
評 議 員	杉 山 義 行	平成 24 年 5 月 30 日～平成 28 年度
評 議 員	西 森 由 紀 子	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度
評 議 員	豊 田 洋 一	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度
評 議 員	立 花 正 人	平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 4 月 30 日
	岡 田 輝 彦	平成 24 年 5 月 16 日～平成 28 年度
評 議 員	渡 辺 巧 教	平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 4 月 30 日
	光 田 清 隆	平成 24 年 5 月 16 日～平成 28 年度

※評議員の任期：選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで（但し、任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時まで）

イ 役員

役 職	氏 名	現 任 期※
理事長（代表理事）	守 屋 直	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
常務理事(代表理事)	川 口 昇	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
理 事	畠 山 滋	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
理 事	阪 間 育 男	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
理 事	公 野 武 久	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
理 事	滝 澤 欣 久	平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 5 月 15 日
	小 田 泰 司	平成 24 年 5 月 30 日～平成 26 年度
理 事	吉 野 明	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
理 事	明 田 千 春	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
理 事	加 藤 愛 子	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
理 事	川 島 勝 夫	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年度
監 事	奥 津 勉	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度
監 事	関 根 宏 而	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度

※理事の任期：選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
 終結の時まで（但し、任期の満了前に退任した理事の補欠として選任された評
 議員の任期は、退任した理事の任期の満了する時まで）

※監事の任期：選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
 終結の時まで（但し、任期の満了前に退任した監事の補欠として選任された評
 議員の任期は、退任した監事の任期の満了する時まで）

15 関係機関との連絡調整

センターの円滑な事業運営を図るため、横浜市等行政関係機関、全国シルバー人材センター
 事業協会、神奈川県シルバー人材センター連合会等との連携を深め、事業の円滑な運営に努め
 ました。